

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	境川遊水地公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

A

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施したため、A評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 下半期収支差額がプラス5.0%と、概ね計画どおりの収支状況であったため、B評価となった。</p> <p>< 3 利用状況 > 今年度下半期利用者数が目標対比増減率で102%となったためB評価となった。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 上位2段階の回答割合が98%となったため、A評価となった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 駐輪場の改良などで、要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図ったため、A評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 自販機の損壊・金銭窃盗事故が発生したが、関係者とともに適切に対応したため、B評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 今後も遊水地の特性を活かした管理運営を継続発展させたい。</p>

1 管理運営等の状況

評価 A

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	遊水地としての機能を保全する。 ・遊水地機能を発揮できるように施設を保全する。 ・遊水地整備の理由、機能を伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設管理、清掃管理を計画的に遂行し、大雨での越流による遊水地機能発揮に備えた。（越流は10月16日のみ） ・館内常設展示に加え、園内視察や見学会の機会に遊水地への理解を深めるよう説明を行った。 ・越流の状況等を、HPへの動画配信や館内ポスター掲示により、情報を周知した。 ・大雨洪水時対策活動を安全かつ適切に実施した。（10月3回、2月1回、3月2回。）

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	<p>ビオトープを中心とした自然環境の保全、活用に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な動植物が生息する環境を保全、育成する。 境川流域の自然と触れ合える機会を設ける。 自然環境を活用する様々な人や団体をつなげていく。 情報センターを活用して自然創出情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物に配慮した草刈り、在来種緑化に向けた移植などを行った。 ボランティアと協働で、湿地や水路の生態系保全に取り組んだ。 自然遊び教室、クラフト教室などで、流域の自然と触れ合う機会を設けた。 情報センターを活用し、日本大学や地域の方と協働での発表、展示を行う等の情報発信を実施した。 関係自治体の行うビオトープ管理者講座への協力・支援を行った。
3 (指定管理業務)	<p>スポーツや交流を通じた地域づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動施設等の活用を通じて健康増進と地域づくりに貢献する。 運動施設等が使いやすい運営に努める。 ゴミ持ち帰りや省エネルギーなど環境にやさしい活用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 越流貯留水の排水後、ゴミや土砂を速やかに撤去し、運動施設の早期利用再開に努めた。 運動施設で除草や砂入れを行い、安全で快適な利用環境の維持に努めた。 地元自治会のマラソン大会に合わせて公園祭を開催し好評を得た。 自治会の協力で、鷺舞橋からの初日の出観覧（114人参加）を行った。 自転車やウォーキングの公園利用等への支援を積極的に行った。 駐車場へのアイドリングストップの看板掲示、ペットボトル等を回収し、リサイクルに努めた。
4 (自主事業)	<p>自動販売機等の運営を行い、収益を利用促進やサービス向上、広報活動に還元する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動販売機の設置、運営。 温水シャワーの設置、運営。 	<ul style="list-style-type: none"> 温水シャワーと自動販売機の運営を行った。 自動販売機の売上金盗難事件があり、警察、自販機管理会社とともに犯罪防止監視活動を行った。 受付窓口にて、自然観察カード及び地域歴史情報冊子の販売を行った。
5 リストから選択	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	11月15日	○	○	—	無	
11月	12月10日	12月25日	○	○	—	無	
12月	1月10日	1月22日	○	○	—	無	
1月	2月10日	2月27日	○	○	—	無	
2月	3月10日	3月19日	○	○	—	無	
3月	4月10日	4月22日	○	○	—	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)					0			0
年度計画	前年度	79,571	0	0	79,571	79,571	0	0
	上半期	40,213	0	0	40,213	40,213	0	0
	下半期	39,358	0	0	39,358	39,358	0	0
	今年度	80,850	0	0	80,850	80,850	0	0
	上半期	39,778	0	0	39,778	39,778	0	0
	下半期	41,072	0	0	41,072	41,072	0	0
通年実績	上半期合計	39,778	0	0	39,778	39,665	0	113
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 0.3%	③	0.3%
	10月	6,922	0	0	6,922	6,770	0	152
	11月	6,644	0	0	6,644	6,330	0	314
	12月	8,297	0	0	8,297	7,938	0	359
	1月	5,858	0	0	5,858	5,528	0	330
	2月	5,618	0	0	5,618	5,055	0	563
	3月	7,733	0	0	7,733	7,400	0	333
	下半期合計	41,072	0	0	41,072	39,021	0	2,051
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 5.0%	③	5.0%
通年合計	80,850	0	0	80,850	78,686	0	2,164	
対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 2.7%	③	2.7%	
参考	前年度 下半期実績合計	39,358	0	0	39,358	39,883	0	▲ 525
	対前年度 下半期実績比				4.4%	-2.2%		

※その他収入の内容

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	×	×	

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 300,000円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 B

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	13,330 人	22,717 人	58.7 %
11月	22,874 人	20,316 人	112.6 %
12月	16,366 人	15,204 人	107.6 %
1月	16,675 人	17,723 人	94.1 %
2月	10,924 人	17,390 人	62.8 %
3月	18,156 人	20,212 人	89.8 %
合計	98,325 人	113,562 人	86.6 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	98,325 人	113,562 人	96,000 人	① 102.5 %	② 86.6 %
上半期計	134,649 人	132,417 人	120,000 人	① 112.3 %	② 101.7 %
合計	232,974 人	245,979 人	216,000 人	① 107.9 %	② 94.8 %

※目標値の設定の有無

	設定している	
期間	半期ごと	その他の場合の期間
基準	過去数年間平均	その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	×	○	該当なし
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	○	10月の越流及び2月の大雪による閉園、施設利用制限が利用者減に結びついたと思われる。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	情報センター 駐車場	俣野駐車場	下飯田駐車場				合計
定員(1日あたりの延べ人数)	15	66	107				188
年間利用可能日数	365	365	365				
最大人数	5,475	24,090	39,055	0	0	0	68,620
半期	2,738	12,045	19,528	0	0	0	34,310

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位2段階 の割合
総合満足度の回 答結果	31	17	1	0	0	49	48 (98.0%)
〔参考〕 上半期結果	52	28	2	2	0	84	80 (96.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 49 件

回収 49 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 A

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管 課受付分	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
〔参考〕上半期結果	6 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	閉門が厳格すぎる、利用時間等の連絡の徹底を願う。	遊水地公園の特殊性を申し出者に説明し、閉門時間の周知徹底に取り組んだ。
	駐輪スペースが少ない。	県と調整し、スタンドを拡充することとした。
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
2月26日	自動販売機の損壊、金銭窃盗。	泉区、戸塚区で同様の事件が多発している。	警察と自販機管理会社（コココーラ）に連絡し、現場保存、事情聴取等の協力を行った。事後は、犯罪防止のために関係者と協力して監視活動に取り組んでいる。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		